Pesticide Science Society of Japan　日本農薬学会

PSSJ NEWS LETTER

http://pssj2.jp

2023年　第3号　令和5年8月20日

CONTENTS

■ 活動報告・各種会議議事録
■ 日本農薬学会第48回大会報告
■ 会員動静
■ 学会関連カレンダー
■ 学会主催会議などの詳細
■「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ改訂4版2018」のご案内
■ 講師派遣のご案内
■【予告】農薬科学研究奨励金のご案内
■ 日本農薬学会第49回大会のご案内

令和5年度第1回常任評議員会議事録

日　時：2023（令和5）年5月13日(土）12:00～15:30
方　法：オンライン開催
出席者：出席者22名（第48回・第49回大会組織委員長各1名，学術小集会委員長6名を含む），欠席者1名
議事：

I.　2022（令和4）年度第6回常任評議員会議事録を確認した（メール審議にて確認済み）.

メール審議3件の内容を確認した.

- 2027年IUPAC 16th ICCPCのホスト国としての立候補について
- 第17回国際寄生植物学会の協賛について
- 2022（令和4）年度第6回常任評議員会議事録案の確認

II.　経過報告および議案

1. 第49回大会準備状況について
   - 2024年3月14日～16日（近畿大学奈良キャンパス）の開催予定で準備を進めていることが報告された.
2. 第48回大会報告
   - 第48回大会の参加人数，運営状況，収支決算状況について報告があった.
   - 今後，第49回大会への引き継ぎを行うこととした.
3. 財務関係
   - 2023年1月1日から3月31日までの収支予算管理報告があった.
4. 編集委員会
   - 学会誌JPSの投稿・審査状況，アクセス状況，およびIFの推移について報告された.
5. 学術・技術支援委員会
   - 「農薬について知ろう」ウェブサイトの更新，および「残留農薬分析　知っておきたい問答あれこれQ&A」（改訂4版）の改訂作業について説明された.
   - 残留分析セミナーの開催予定について報告された.
   - 講師派遣を随時受け付けているとの説明があった.
   - 2022（令和4）年度研究奨励金交付課題について，農薬科学研究成果報告書の受領報告があった.
6. 将来計画委員会
   - 将来計画委員会の委員が紹介された.
   - 日本農薬学会の一般社団法人化に関する経緯，今後の課題，および今後の予定について説明された.
7. 学会賞受賞者選考委員会
   - 学会賞受賞者選考委員会の委員が紹介された.
8. 学術小集会委員長からの連絡
   - 小集会委員長の紹介があり，各小集会の活動予定が報告された.
   - 50周年記念の出版に関して，各小集会における検討状況が報告された.
9. 技術士育成推進委員会
   - 第48回大会にて技術士セミナーを実施したこと，また技術士育成推進委員会のウェブサイトを更新予定であることが報告された.
10. 日本昆虫科学連合，日本植物保護科学連合
    - 2023年6月10日に開催予定の日本昆虫科学連合・日本学術会議共催シンポジウム「安心安全な未来の食糧生産を考える－昆虫がつなぐ2050年の食生活－」の紹介があった.
    - 2024年8月25日～30日に京都にて開催予定の第27回国際昆虫学会議について，シンポジウムの提案を受付中との説明があった.

・日本植物保護科学連合の会議の開催予定について説明された．

11. 公益財団法人農学会，一般社団法人日本農学会
・2023年10月7日に開催予定の日本農学会のシンポジウム「激動する社会と農学」について紹介された．また，来年度シンポジウムのテーマを日本農薬学会からも提案することとした．

12. 国際学会の渡航費補助について
・申請状況について説明があり，審査の方針について議論した．
・財務委員会にて確認された2件（各30万円）への補助が承認された．

13. 入退会の報告
・入退会の報告があり，正会員10名，学生会員5名，及び海外学生会員1名の入会が承認された．

14. その他
・2027年IUPAC 16th ICCPCに関して，開催国がギリシャに決まったとの説明があった．
・50周年記念の書籍出版について，企画を進めているとの報告があった．
・学会の活性化についての意見を交換した．
・PSSJニュースレターに掲載する各種委員会の議事録について，決定事項を中心として掲載し，簡素化を図ることとした．

令和5年度第2回常任評議員会議事録

日　時：2023（令和5）年7月22日(土）13:00〜15:50
方　法：オンライン開催
出席者：出席者14名（第49回大会組織委員長を含む），欠席者2名
議事：
I.　2023（令和5）年度第1回常任評議員会議事録を確認した（メール審議にて確認済み）．
メール審議2件の内容を確認した．
・編集委員長の交代について
・2023（令和5）年度第1回常任評議員会議事録案の確認

II.　経過報告および議案

1. 第49回大会準備状況について
・2024年3月14日〜16日になら100年会館および近畿大学奈良キャンパスにて開催予定の第49回大会について，準備状況が大会組織委員長から報告された．

2. 財務関係
・2023年1月1日から6月30日までの収支予算管理報告があり，順調に推移しているとの説明があった．

3. 編集委員会
・2023年度常任編集委員会メンバーについて，森山編集委員長より紹介された．
・2024年度論文賞候補の選抜方法と推薦状況について説明された．
・学会誌JPSの投稿・審査状況，アクセス状況，およびIFの推移について報告された．

4. 将来計画委員会
・2023年度第1回将来計画委員会が開催され，農薬科学の裾野の拡大，会員の拡大，若手研究者の育成，およびイメージの改善について議論したとの報告があった．

5. 学会賞受賞者選考委員会
・日本農薬学会の学会賞候補者の推薦状況について説明された．
・日本農学賞および日本農学進歩賞への推薦について議論した．

6. 農薬科学研究奨励金について
・これまでに採択された課題の研究進捗状況について報告があった．

7. 技術士育成推進委員会
・次回のセミナーは来年度の大会で開催予定であると説明された．

8. 昆虫科学連合，植物保護科学連合
・2024年に京都で開催予定の国際昆虫学会について，シンポジウムと出版物の紹介があった．
・2024年12月に学術会議植物保護科学分科会および植物保護科学連合の共催で開催予定のシンポジウムについて，日本農薬学会からの講演者の推薦依頼があったと説明された．

9. 公益財団法人農学会，一般社団法人日本農学会
・日本農薬学会から提案した2024年度日本農学会シンポジウムのテーマについて説明があった．

10. 国際学会の渡航費補助について
・新たに2件の申請があったとの説明があり，承認された．
・次年度以降の審査のスケジュールと方針について議論した．

11. 入退会の報告
・2023年5月〜6月の期間における入退会の報告があり，正会員2名および学生会員2名の入会が承認された．

12. その他
・日本農薬学会の一般社団法人化に向けた検討状況について説明があり，法人化の時期について議論した．
・日本農薬学会50周年記念の書籍出版について，企画を進めているとの報告があった．執筆ルールおよび今

後のスケジュールについて説明があった．

・過去の記念事業（21世紀記念事業，30周年，40周年）の内容と寄付金額についての説明があり，これらを参考にして50周年記念事業の内容を検討していくこととした．

・インドとの交流について話題提供があり，将来的な共同研究を見据えて日印でシンポジウムを開催することが提案された．

・会議費の支出方法について説明があった．

令和5年度第1回学術・技術支援委員会議事録

日時：2023（令和5）年7月5日（水）16:00～18:00
方法：オンライン
出席者：出席13名（全員参加）
議事：
学術・技術視点に係る以下について検討した．

1. 「農薬について知ろう」Webサイトの改訂作業
2. 残留農薬分析セミナー　2023年度の開催
3. 講師派遣の取組及びホームページの掲載内容
4. 「残留分析知っておきたい問答あれこれ」のWeb版作成作業

令和5年度第1回将来計画委員会議事録

日時：2023（令和5）年7月18日（火）17:00～18:10
方法：オンライン開催
議題：
「日本農薬学会の改革に向けた答申」（2022年7月1日）に関するその後の取組みと課題について議論した．主な論点は，農薬科学の裾野の拡大，会員の拡大，若手研究者の育成，イメージの払拭であった．今後，メール審議を進めつつ，10月以降に開催予定の第2回委員会において具体的な取り組みと次年度予算について検討し，12月開催予定の第4回常任評議員会における承認を目指すこととした．

日本農薬学会第48回大会（東京）報告

日本農薬学会第48回大会は，2023（令和5）年3月8日（水）から3月10日（金）までの3日間にわたり，東京都世田谷区の東京農業大学世田谷キャンパスを大会運営本部として開催された．2019年名古屋大会以来，4年ぶりの対面での開催となった．本大会への参加者数は，正会員208名，学生会員45名，非会員102名（合計355名），加えて名誉・終身会員，賛助会員，ランチョンセミナー6社，企業展示10社を招待し，全体でおよそ400名であった．

初日8日の午前には，総会に続いて学会賞授賞式（業績賞〔研究〕1題，業績賞〔技術〕1題，論文賞1題）を行い，同日午後には受賞講演（業績賞2題）と特別講演（2件）ののち，未来開拓シンポジウム（3題）が開催された．特別講演では，浅野哲氏（内閣府食品安全委員会委員）により「残留農薬の安全性確保のためのリスク評価」，加藤拓先生（東京農業大学）により「吸着体としての土壌コロイドの化学的性質」をご講演いただき，続く日本農薬学会将来計画委員会主催の未来開拓シンポジウムでは「将来の植物保護に向けた応用微生物学」と題して浅見行弘先生（北里大学），永田裕二先生（東北大学），阪井康能先生（京都大学）の3名の先生方にご講演いただいた．いずれの講演も農薬学会会員にとって大変有意義な内容であった．

2, 3日目には両日とも，一般講演を4つの会場で午前中に

写真1.　名誉会員推挙式

写真2.　令和5年度学会賞受賞者

2セクション，午後に1セクション行い，昼食時にランチョンセミナーを3件ずつ開催した． 2日目の一般講演後には，恒例となっている農薬バイオサイエンス研究会との共催シンポジウム「生命科学の新技術に学び，活かす」を開催し，300名会場が満席となる盛況ぶりであった．また，3日目一般講演後には，大会組織委員会提案のシンポジウムを「天然物化学は学びの宝庫」と題して開催し，こちらも最終日午後にもかかわらず多くの聴講者が参加して活発な討論が行われた．

一般講演は86題があり，対面での口頭発表となったことで，発表者・参加者間で活発な議論がなされた．今大会も多くの学生の方々が発表し，学生優秀発表賞を岸端咲良氏（東京農業大学），および近藤直純氏（北里大学）に授与した．また一般講演会場横では，海外からを含む10社によって企業展示が行われた．

このように，第48回大会（東京）は無事，成功裏に終わった．参加者各位，特別講演，シンポジウムの演者に加え，企業からはランチョンセミナー，広告，展示を通して多くの経済的ご支援をいただき，深謝いたします．また，組織委員各位，アルバイト学生，業務委託を行った（株）ダイナコム，（株）イベント＆コンベンションハウスにも感謝の意を申し上げます．最後に，皆様の益々のご活躍，ご発展を祈念いたします．

日本農薬学会第48回大会組織委員会委員長
須恵　雅之（東京農業大学）

日本農薬学会第48回大会　収支報告書

単位：円

科　　目	決　算　額	備　考	
【収入の部】			
大会参加費	3,280,000	有料参加者数	
		正会員	208
		学生会員	45
		非会員	102
		合計	355
講演要旨頒布料	9,000	3件	
ランチョンセミナー・広告・展示料	3,490,000	ランチョンセミナー6件，広告16件，展示10件	
助成金	0		
利子	0		
収入合計	6,779,000		
【支出の部】			
会議費	4,552,008	会議費，大会システム，運営業務委託	
消耗品・雑費	0		
旅費・交通費	78,100	シンポジスト旅費	
通信運搬費	180,627	振込手数料，クレジットカード決済料	
講師謝金費	233,877	特別講演演者，シンポジスト	
アルバイト費	730,084	会場係など	
支出合計	5,774,696		
収支差額	1,004,304		

会　員　動　静

（2023年2月1日～6月30日）

入会

正会員

青山幸二　水野想　内田孝行　小倉由資
佐川進吾　島貫和弘　志村潤　福元健志
河津圭　二條貴通　藤原弘和　下田周平

学生会員

伊藤稜　田中沙由利　井上鼓捺　西海喬子
岩崎皓斗　川井孔貴　千歳菜摘

海外学生会員

ROJAS Jose Felix

（受付順）

退会

名誉会員

若林攻

終身会員

早川充　横山佐太正

正会員

有本裕　遠藤利治　橋本良子　北畑信隆
児玉亨　桑原重文　中谷清　諏佐淑子
高岩明裕　辻敦　米山香織　日比忠晴
中尾俊史　小原敏明　於勢佳子　濱田翔平
依藤伸行　神山英夫　砂川晶　杉浦伸明
隠塚修平　宮村拓弥　矢野まりこ　津田幹雄
菊池菜央　大下純　高杉航平　富谷爽也
林義貴　北口大毅　三谷尚大　小林拓矢
近藤まり　斎藤武司　上田憲

学生会員

片山峻樹　室賀邦太朗　北村愛実

海外会員

SONCHIEU, Jean

維持会員

株式会社MMAG

学会関連カレンダー

太字は日本農薬学会が主催，共催，協賛，後援する会議等

2023年

9月

14日（木）～15日（金）　第40回農薬環境科学研究会

主催：日本農薬学会，農薬環境科学研究会

会場：ホテルマイステイズ松山［〒790–0067　愛媛県松山市大手町1–10–10］

方法：対面型（ハイブリッド）

URL：http://pssj2.jp/committee/environment/environment40.html

20日（水）　第38回報農会シンポジウム『植物保護ハイビジョン－2023』

主催：公益財団法人　報農会

協賛：日本応用動物昆虫学会，日本植物病理学会，日本農薬学会，日本雑草学会

方法：オンラインによるライブ配信

URL：https://honokai.org

28日（木）～29日（金）　第42回農薬製剤・施用法シンポジウム

主催：日本農薬学会，　農薬製剤・施用法研究会

協賛：農業食料工学会，日本雑草学会，粉体工学会，日本化学会，高分子学会，色材協会，日本油化学会

会場：なら100年会館［〒630–8121　奈良県奈良市三条宮前町7番1号］

URL：http://pssj2.jp/committee/seizai/seizai42.html

11月

10日（金）　第59回植物化学シンポジウム（2023年度日米国際植物化学シンポジウム）

主催：植物化学研究会

協賛：日本薬学会，日本農芸化学会，日本化学会，学術変革領域研究A「予知生合成科学」ほか

会場：東京大学山上会館本館［〒113–8654　東京都文京区本郷7–3–1］

13日（月）～14日（火）　第46回農薬残留分析研究会

主催：日本農薬学会，農薬残留分析研究会

会場：長野アクティーホール［〒380–0826　長野市大字南長野北石堂町1177番地3］

URL：http://pssj2.jp/committee/zanryu/zanryu46.html

17日（金）　第24回農薬バイオサイエンス研究会

主催：日本農薬学会，農薬バイオサイエンス研究会

会場：東京農工大学府中キャンパス［〒183–0054東京都府中市幸町3丁目5–8］

URL：http://pssj2.jp/committee/bioscience/24.html

20日（月）～21日（火）　第51回構造活性相関シンポジウム

主催：日本薬学会構造活性相関部会

会場：日本薬学会長井記念ホール［〒150–0002　東京都渋谷区渋谷2–12–15］（オンラインとのハイブリッド開催を予定）

講演申込締切：8月31日（木）※延長の可能性あり

講演要旨登録期間：10月1日（日）～10月31日（火）

参加登録予約申込締切：11月6日（月）

実行委員長：広川貴次（筑波大学）

お問い合わせ先：第51回構造活性相関シンポジウム実行委員会

e-mail：sar2023＠qsarj.org（＠を半角に変更願います）

URL：https://www.qsarj.org/51sympo/

22日（水）　第37回農薬デザイン研究会
主催：日本農薬学会，農薬デザイン研究会
会場：ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター
［〒532–0011大阪府大阪市淀川区西中島6–2–19］
方法：対面型
URL：http://pssj2.jp/committee/design/design37.html

12月
18日（月）第30回農薬レギュラトリーサイエンス研究会
主催：日本農薬学会，農薬レギュラトリーサイエンス研究会
会場：北とぴあ［〒114–8503東京都北区王子1丁目11－1］
詳細は，決まり次第，学会HPにてお知らせいたします．

2024年
3月
14日（木）～16日（土）　日本農薬学会第49回大会
主催：日本農薬学会
会場：なら100年会館［〒630–8121　奈良県奈良市三条宮前町7番1号］，近畿大学奈良キャンパス［〒631–8505 奈良県奈良市中町3327–204］

詳細未定　第25回農薬バイオサイエンス研究会（第49回大会と共催でシンポジウムを開催）
主催：日本農薬学会，農薬バイオサイエンス研究会
会場：近畿大学奈良キャンパス〔〒631–8505　奈良県奈良市中町3327–204〕

学会主催会議などの詳細

第40回農薬環境科学研究会　開催案内

主催：日本農薬学会，農薬環境科学研究会
日時：2023年9月14日（木）～15日（金）
場所：ホテルマイステイズ松山
〒790–0067　愛媛県松山市大手町1–10–10
TEL：089–913–2580
開催方法：対面型（ハイブリッド）
テーマ：グローバルにアプローチするグリーンテクノロジー
【プログラム】
1日目　9月14日（木）11:45～18:00
11:45～　受付
12:30～12:40　開会挨拶
1）12:40～13:40　特別講演：「Applications of biocatalysts for bond making and bond breaking」
University College London Prof. Dr. Hailes Helen
2）13:40～14:20　基調講演「微生物変換で天然に存在しない生物活性天然有機化合物を創生する」
岡山大学農学部　神崎　浩
3）14:20～15:00　「急傾斜農業の超省力化に向けた小型農業ロボットシステムの開発」
愛媛大学農学部　上加　裕子
15:00～15:20　休憩
4）15:20～16:00　「ペット動物を指標とした室内の農薬汚染実態の解明」
愛媛大学農学部　水川　葉月
5）16:10～16:30　総合討論
6）16:30～17:30　ポスター発表・企業展示
7）18:00～20:00　情報交換会
2日目　9月15日（金）9:30～12:30
1）9:30～10:10　「愛媛県におけるドローン利用による病害虫防除法の現場実装への取り組み」
愛媛県農試験場　奈尾　雅浩
2）10:10～10:50　「環境経済学の見地から―環境の選好・便益評価のアプローチと農村サステナビリティプロジェクトの分析―」
愛媛大社会共創　入江　賀子
10:50～11:00　休憩
3）11:00～12:20　企業ミニプレゼンテーション
4）12:20～12:30　閉会挨拶

詳しくはウェブサイトをご覧下さい．
http://pssj2.jp/committee/environment/environment40.html

第42回農薬製剤・施用法シンポジウム　開催案内

主催：日本農薬学会　農薬製剤・施用法研究会
協賛：農業食料工学会，日本雑草学会，粉体工学会，日本化学会，高分子学会，色材協会，日本油化学会
日時：2023年9月28日（木）～29日（金）
会場：なら100年会館［〒630–8121　奈良県奈良市三条宮前町7番1号］
1. プログラム（予定）
9月28日　13:00～17:00　特別講演（3件），ポスターセッション

※今回は全体参加の懇親会は開催致しません.

9月29日　10:00～12：00　技術研究発表

【特別講演1】

「農薬散布のスマート化への取り組みと課題，農薬センシング技術の開発に向けて」

野口　良造（京都大学大学院　農学研究科）

【特別講演2】

「界面活性剤混合系における分子集合体の構造制御とその応用―ベシクルを中心に―（仮題）」

酒井　秀樹（東京理科大学　創域理工学部　先端科学科）

【特別講演3】

「農薬製剤の製造プロセスにおける計測と制御」

綿野　哲（大阪公立大学　工学研究科）

2. 参加申込

1）申込方法

参加登録締切：2023年9月22日（金）

第42回農薬製剤・施用法シンポジウムページへ移動していただき，参加登録事前準備，参加登録方法をご一読いただき，参加登録・参加費のお支払をお済ませください.

2）　参加費，参加費支払い方法

（1）2023年8月31日（木）までの早期割引料金

①日本農薬学会及び協賛学会（協会）個人会員の場合：10,000円

②上記学会の個人会員でない場合：12,000円

（2）2023年9月1日（金）～9月22日（金）の通常料金：14,000円

＊支払や領収書等，詳しくは第42回農薬製剤・施用法シンポジウムページをご確認ください.

＊所属団体一括参加登録及び一括参加費支払いを希望される団体様，当研究会押印入り領収書が必要な方，その他参加登録に関してご不明な点がありましたら，事務局にお問い合わせください.

3. 技術研究発表申込

発表内容は農薬製剤・施用法全般に関するものとし，下記のいずれかに申込んでください.

技術研究発表1：プレゼンテーション（15分）＋質疑応答

技術研究発表2：プレゼンテーション（10分）＋質疑応答

発表を申込む方は，

1）「発表申込書」（別紙1）に希望発表形式，演題，発表者，所属等，必要事項を記入の上，7月28日（金）までにE-mailにて下記技術研究発表申込担当にお申込み下さい.

＊尚，技術研究発表を希望される方も別途参加申込が必要となります．前項「2．参加申込」を参照ください.

＊別紙1に記載されている「プレゼンテーション方法」もあわせてご確認ください.

2）「技術研究発表要領」（別紙2）により作成した発表要旨を8月25日（金）までにE-mailにて下記技術研究発表申込担当に送付して下さい.

3）　2）と合わせてシンポジウム要旨の「著作権利用許諾誓約書」（別紙3）について必要事項を記入し，8月25日（金）までに下記技術研究発表申込担当までE-mailにて提出してください.

開催案内の詳細は，下記URLからご覧いただけます.

http://pssj2.jp/committee/seizai/seizai42.html

第46回農薬残留分析研究会　開催案内

主催：日本農薬学会，農薬残留分析研究会

日時：2023年11月13日（月）～11月14日（火）

会場：長野アクティーホール（JA長野県ビル，別棟）

〒380–0826　長野市大字南長野北石堂町1177番地3

プログラム：

2023年11月13日（1日目）

13:00～13:10　開会挨拶：農薬残留分析研究会委員長　飯島和昭

シンポジウム「農薬残留分析に係る最新の話題」

13:10～13:50　招待講演-I 「作物残留試験の審査に係る基本的な考え方（仮題）」

農林水産省消費・安全局農産安全管理課　農薬対策室　ご担当者

13:50～14:30　招待講演-II 「受託分析機関の事業継続計画（BCP）について」

一般財団法人日本食品検査　橘田　規

14:30～15:45　ポスターセッション，企業展示

15:45～16:25　招待講演-III 「OECD-GLPと作業部会について」

独立行政法人農林水産消費安全技術センター　鶴居義之

16:25～17:05　招待講演-IV 「海外での農薬登録制度の動向について（仮題）」

日本農薬株式会社　元場　一彦

17:05～17:50　特別講演 「長野県の農業（仮題）」

長野県農業試験場　岩波　靖彦

18:00～20:00　情報交換会

2023年11月14日（2日目）

9:00～10:00　難分析セミナー

「香辛料の残留農薬分析法について（仮題）」

株式会社カネカサンスパイス　阿部　友紀

「揮発性農薬の蒸留法とHS-GC法との同等性検証（仮題）」

一般財団法人残留農薬研究所　矢島　智成

10:00～11:00　ポスターセッション，企業展示

11:00～11:50　「不測の事態への対応事例の情報共有」

～アンケートを踏まえて～ 46回実行委員会

11:50　閉会挨拶

12:00～17:20　エクスカーション

（エスコ社ほ場での安全性試験デモンストレーション等）

17:20　頃長野駅にて解散予定

URL：http://pssj2.jp/committee/zanryu/zanryu46.html

第24回農薬バイオサイエンス研究会　開催案内

タイトル：昆虫フェロモン研究の最前線

主催：日本農薬学会，農薬バイオサイエンス研究会

日時：2023年11月17日（金）13:30～16:10

会場：東京農工大学　府中キャンパス　農学部本館講堂

〒183–0054 東京都府中市幸町3丁目5–8

プログラム：

13:30～13:35　開会の挨拶

13:35–14:10　『ゴマダラカミキリのコンタクトフェロモン同定までのみちのり』

辻井　直（農研機構植物防疫研究部門）

14:10–14:45　『ここまでわかったガ類性フェロモンの生合成メカニズム』

藤井　毅（摂南大学　農学部）

休憩（10分）

14:55–15:30　『ここまでわかったガ類性フェロモンの受容メカニズム』

櫻井　健志（東京農業大学　農学部）

15:30–16:05　『昆虫フェロモン利用の現状と課題』

田端　純（農研機構　植物防疫研究部門）

16:05–16:10　閉会の挨拶

参加条件：農薬学会会員，非会員ともに参加費無料．皆様，奮ってご参加下さい．

申し込み：専用申し込みフォーム（https://forms.gle/gsXjP1oNpMpmx5nK9）またはQRコードよりお入りいただき，お申し込みください．申込〆切　2023年11月15日（水）

皆さまのご参加をお待ちしております．

問い合わせ先：農薬バイオサイエンス研究会委員長

崇城大学　太田広人

（096–326–3765, hiohta［at］bio.sojo-u.ac.jp）

迷惑メール防止のため，@を［at］と記載しております．ご使用はお手数ですが@への変換をお願いいたします．

URL：http://pssj2.jp/committee/bioscience/24.html

第37回農薬デザイン研究会　開催案内

主催：日本農薬学会，農薬デザイン研究会

日時：2023年11月22日（水）10:00～19:30（懇親会含む）

会場：ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター［JR「新大阪」徒歩8分，〒532–0011 大阪府大阪市淀川区西中島6–2–19］

プログラム：

9:45–10:30　受付

10:30–10:35　開会の挨拶

農薬デザイン研究会委員長　清田　洋正（岡山大学）

10:35–11:25　講演1：『混雑分子の合成化学』

西形　孝司　（山口大学）

11:25–12:15　講演2：『フロー・自動合成，機械学習技術が駆動する有機合成の革新』

布施　新一郎　（名古屋大学）

12:15–13:30　昼休み

13:30–14:20　講演3：『AI創薬最前線　～分かりやすく基礎から最新応用事例まで～』

結城　伸哉　（株式会社Elix）

14:20–15:00　講演4：『新規ウンカ防除剤ベンズピリモキサンの創出』

佐藤　英孝　（日本農薬株式会社）

15:00–15:10　休憩

15:10–16:00　ショートプレゼンテーション
16:00–17:30　ポスター発表/企業出展
　休憩，移動
17:40–19:30　懇親会
19:30　閉会
参加申し込み受付締切：2023年9月29日（金）

※ウェブサイト（http://pssj2.jp/committee/design/design37.html）を御覧ください．

「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ改訂4版2018」のご案内

日本農薬学会では，精度の高い残留農薬分析を実施する上で特に配慮すべき事項を「Q & A」形式に取りまとめた「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ」を出版しています． 2003年に初版を発行以来，好評を博して改訂を重ね，現在最新版が改訂4版となっております．改訂4版では，前3版出版以降の農薬登録制度の動向を反映させ，最新の科学的知見を盛り込むよう全文の見直しを行ったうえで，初学者の方にも，より読みやすくなるよう心がけて内容を再整理しました．また，携行性を高めるために軽量化を図りました．前版と同様に残留農薬分析の基本やノウハウを得るための参考書として，さらに，食の安全に関心をお持ちの幅広い方々に対しても，農薬の規制についての理解の一助となるようお役立て頂けると幸いです．定価は3,000円です（送料別）．

購入申込み方法：
メールまたはFAXにて，以下の日本農薬学会事務局に氏名，所属，メールアドレス，電話番号，送付先住所，購入冊数（FAX申込みの場合はFAX番号）等をご連絡下さい．また，メール等の件名には「問答あれこれ購入」と記入して下さい．折り返し請求書（送料を含む）を同封し発送しますので，振込みをお願いします．詳細は，学会ホームページもご参照ください．
日本農薬学会事務局：
〒114–0015東京都北区中里2丁目28番10号　日本植物防疫協会内
FAX: 03–5980–0282
MAIL: nouyaku@pssj2.jp
学会HP: http://pssj2.jp/overview/book_zanryu.html
※平成30年の農薬取締法改正に伴い更新が必要となった記事を新旧対照表として取りまとめました．学会ホームページ上（http://pssj2.jp/overview/book_zanryu.html）で公開していますので，ご参照ください．

講師派遣のご案内

日本農薬学会では，一般市民や農業，教育関係の方々に農薬に関する知識や理解を深めていただくことを目的として，専門家を講師として派遣しています．派遣講師が行う講義の内容は，食料生産，作物保護，食品安全，環境影響，薬剤抵抗性，農薬製剤・施用法，農薬をめぐる諸問題等，ご要望にできる限り沿うようにしたいと考えておりますので，遠慮なくご相談ください． 本活動にご興味がございましたら，学会ホームページ（http://pssj2.jp/overview/semina/haken_16.html）をご参照のうえ，日本農薬学会事務局にご連絡ください．

【予告】農薬科学研究奨励金のご案内

日本農薬学会では，農薬科学研究の支援を目的として，特に競争的資金の獲得が難しい研究課題や研究者の方々にも利用していただけるよう農薬科学研究奨励金の交付を行っています．これまで，多くの成果が日本農薬学会大会において発表され，また一部は研究論文として日本農薬学会誌に掲載されています．今年度も2024（令和6）年度交付分の募集を9～11月に予定していますので，是非前もってご準備いただき，奮ってご応募くださいますようお願いいたします．詳細な応募要件等は後日正式に決定次第，日本農薬学会ホームページにてご案内いたします．

ホームページ案内：http://pssj2.jp/inside/grant22.html

過去の採択課題：http://pssj2.jp/inside/past_grant.html

日本農薬学会第49回大会のご案内

日本農薬学会第49回大会を，2024（令和6）年3月14日（木）から3月16日（土）までの3日間にわたって奈良市（なら100年会館・近畿大学奈良キャンパス）にて開催いたします．実施形態は，完全対面での開催を予定しております．本会会員ならびに関係学会会員，農薬科学にご関心をお持ちの皆様には，奮ってご参加を検討頂けますようお願い申し上げます．

本大会の最新情報ならびに内容の詳細については，学会ホームページやお知らせメールにてお知らせいたしますので，随時ご確認ください．植物防疫関係2学会（日本植物病理学会，日本応用動物昆虫学会）および日本雑草学会と植物化学調節学会の正会員・学生会員の方は，本大会の参加・発表に関して，例年通り本学会会員と同等の扱いとなりますので，お近くのこれら関係学会員の方にも参加・発表のお誘いをいただければ幸いです．また，非会員の方のご参加も歓迎いたします．

開催日と場所

・2024年3月14日（木）
　総会，学会賞授賞式，受賞講演，特別講演等『なら100年会館大ホール』
　懇親会『ホテル日航奈良』

・2024年3月15日（金）～16日（土）
　一般講演，シンポジウム，ランチョンセミナー，企業展示『近畿大学奈良キャンパス（農学部）各教室』
　＊常任評議員会，評議員会および編集委員会は，3月13日（水）に『ホテル日航奈良』にて開催します．詳細については別途ご案内を差し上げます．

〈問い合わせ先〉

日本農薬学会第49回大会組織委員会委員長　森本　正則（近畿大学）
E-mail: masanori@nara.kindai.ac.jp

発行所：日本農薬学会
〒114–0015　東京都北区中里2–28–10
一般社団法人日本植物防疫協会内
FAX: 03（5980）0282
E-mail: nouyaku@pssj2.jp